

# Advances in Resources Research 執筆要領

資源経済研究会

2020年11月25日制定

2021年11月29日改訂

## 1. 総則

Advances in Resources Research への投稿に関しては、本執筆要領に従う。

## 2. 原稿表紙

原稿表紙には、次の事項を記す。

- (1) 原稿の種類。原稿の種類（論文、総説）を英文で記す。
- (2) 題名。題名は簡潔にかつ主題を明確にする。
- (3) 著者名。著者名を完記する。著者が異なった機関に属する場合、「†1), †2), ...」で氏名の右肩と所属機関の前に付し対応させる。
- (4) 著者の所属機関名。機関名と部署名を記す。
- (5) Corresponding Author の Email アドレスを1ページ目の脚注に記す。
- (6) 論文特集の場合は、特集テーマも記す。

## 3. 要旨

要旨は研究の背景、目的、方法、結果、結論を簡潔に示したもので、150～200語程度で作成する。

## 4. キーワード

キーワードの目的は、文献検索を簡便化することであり、下記の基準に従ってキーワードを選び、要旨の後に添付する。

- (1) 一つのキーワードは3語以内とし、事柄、物質名などの名詞とする。
- (2) キーワードは、原則として単数名詞で表現する。
- (3) キーワードは著者が選定する。
- (4) キーワードは編集委員会の判断で変更することがある。

## 5. 本文

本文は以下の通りに書く。

(1) 形式については特に限定しないが、目的や方法、結論を明確にする。例えば、論文では緒言、方法、結果と考察、結言などのようにする。本文の内容では、常識的な事柄について冗長な説明や教科書的な内容の記述を避ける。

(2) 章・節および項の区分は、ポイントシステムとする。章には副題を付けることができる。章番号は「1.、2.、…」、節番号は「1.1.、1.2.、…」、項番号は「1.1.1.、1.1.2.、…」、とする。それ以上に細分の必要がある場合は、(1) ……、(2) ……、のようにするが、さらなるの細分化を避ける。

(3) 新しい行の始めは、3文字あける。

(4) 脚注が必要な場合は、文章の段落の右肩に添字で脚注 1) のように表示し、同じページの下段にまとめ、本文と区別する。

(5) 数式は1行使って次のように括弧内に通し番号を付ける。

$$A + B = C \quad (1)$$

(6) 図および表は、必ず本文中で番号を付けて引用するものとする。例えば、図 1 は「Figure 1」、表 1 は「Table 1」のように明示する。

(7) 図の題名および説明文は、図の下部に書く。表の題名は表の上部に、説明文は表の下部に書く。

(8) 数量、序数を示す数字はアラビア数字とする。

(9) 単位は SI 単位の使用を原則とする。やむを得ず非 SI 単位を用いる場合は、換算方法を示す。

## 6. 参考文献

私信や未公表・未刊行物などの外部に公表されていないものは、原則として「参考文献」として認めない。

(1) 参考文献は、本文の該当個所の右肩に[1]、[1,2]、[1-3]のように引用の出現順に通し番号で示し、本文の末尾にまとめて記載する。

(2) 参考文献の記載は、英文とする。雑誌の場合、著者名（姓を先にし、名の頭文字を次に続ける）、論文名、雑誌名、年号、巻数（号数）、開始ページ-終了ページの順で記載する。単行本の場合、著者名、書名、出版社、出版年を記載し、引用ページを「23-25」のように表記する。電子文献の場合、ウェブサイト著者名、掲載年、題名、URL、アクセス日、の順とする。参考文献の書き方は以下の例を参照する。3名以上の共著の場合は、「et al.」を用いる。

### 【例】

[1] Liu, X. Concentrated zones assessment of tight oil reservoir on discriminant analysis in China. *Journal of the Japan Institute of Energy*, 2018, 97(6), 124-134.

[2] Yang, J., Cao, S. Current situation and development trend of deep-water oil drilling technology. *Oil Drilling and Production Technology*, 2008, 2, 10-13.

[3] Zhang, J., Lin, L., Li, Y., et al. Classification and evaluation of shale oil. Earth Science Frontiers, 2012, 19(5), 322-331.

[4] Guo, X. The Development history of world offshore oil. Petroleum Industry Press, 2012, 33-35.

[5] Shale Gas Reporter. Range resources sets record lateral length in Pa.  
<http://shalegasreporter.com/news/range-resources-sets-record-lateral-length-pa/60921.html>  
(Accessed 2020/11/16)

## 7. 付録

付録は、脚注の範囲で処理しきれない時に活用し、本文の後に記す。付録をつける場合、本文中の該当箇所での旨記載する。また、付録に出てくる図や表は、独立の番号とする。

## 8. 原稿の分量

原稿の分量は原則として、刷上りで論文 10 ページ以内、総説 20 ページ以内を目安とする。